

★ 恋愛・結婚について考えてみよう

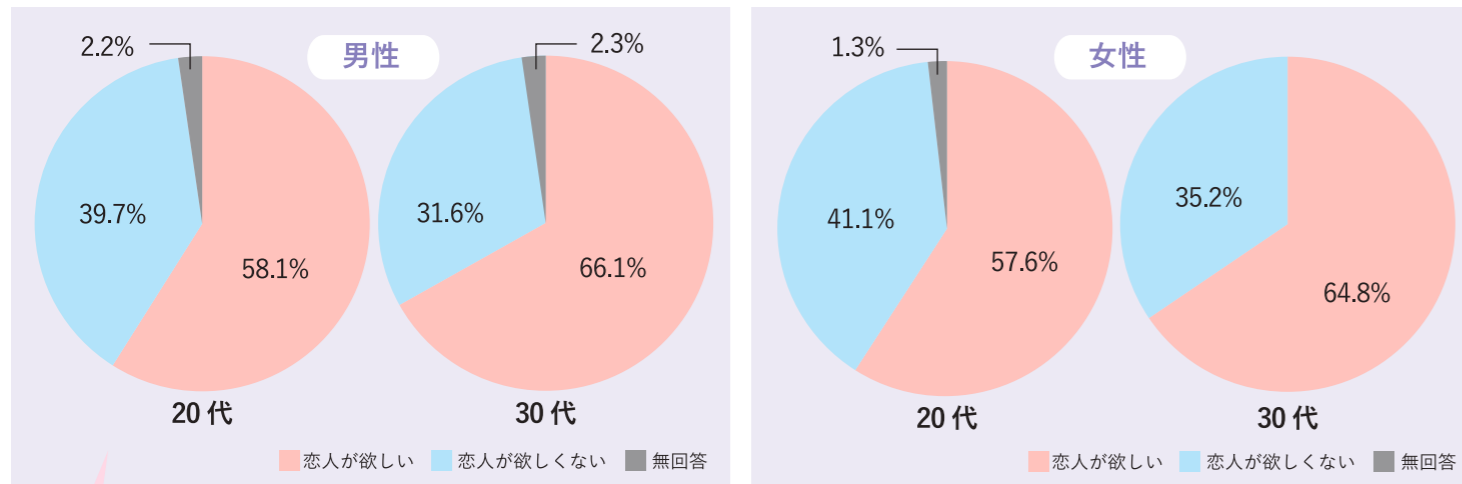
● 高校生と恋愛

高校時代は、身体的にほぼ成熟し、性的な特徴が明確になってくる時期です。それにつれて、性への関心も高まり、恋愛をしたいと望むようになり、その対象として意識する相手はかなり特定化される傾向も強まってきます。このため、他者に対する理解を一層深めるとともに、互いに協力し尊重し合う態度を養うことが大切です。

恋愛をすると、自分の中にさまざまな感情が生まれ、楽しい、嬉しい、ドキドキするなどのポジティブな気持ちだけでなく、失恋して「二度と人を好きにならない」と落ち込むこともあるようです。しかし、こうしたネガティブな感情を経験することは、決して悪いことではありません。このような経験をすると、相手の立場や気持ちをより深く考えられるようになるなど、自らの向上につながります。

こうした経験を重ねることは、日常の諸問題などに対して互いに協力して問題を解決し、家庭や社会における望ましい人間関係や男女共同参画社会の在り方などについて、幅広く考えていくことにもつながります。

・ 恋愛に対する意識調査



- ・ 男女の合計では「恋人が欲しい」は60.8%になります。
- ・ 「恋人が欲しい」は男女間で大きな差がありませんが、男女ともに30代の方が、20代よりも割合が高くなります。
- ・ 男女とも20代は、約4割が「恋人が欲しくない」と回答しています。

◆ 恋愛の相手を選ぶとしたら、何が大事ですか。

	とても大事	わりと大事	あまり大事でない	全く大事でない
1 人として尊敬できる	1	2	3	4
2 価値観が同じ	1	2	3	4
3 やさしい	1	2	3	4
4 おもしろい	1	2	3	4
5 明るい	1	2	3	4
6 落ち着いている	1	2	3	4
7 よく気が付く	1	2	3	4
8 誠実	1	2	3	4
9 性格がよい	1	2	3	4
10 気が合う	1	2	3	4
11 話しやすい	1	2	3	4
12 勉強ができる	1	2	3	4
13 スポーツが得意	1	2	3	4
14 その他()	1	2	3	4

さまざまな人と出会う中で、好きな人ができ、相手のことを自分以上に大切に想う気持ちが芽生えることもあるかもしれません。さらに、一生を共に過ごしたいと思うような人と出会うこともあるでしょう。どのようなパートナーと共に過ごすのかは、自分の人生に大きな影響を与える重要な選択です。また、できる限り相手との対等な関係性を築くことも大切なポイントの一つです。



■ デートDVとは

配偶者や交際相手など、親密な関係にある、またはあった者からふるわれる暴力を「DV(ドメスティック・バイオレンス)」といいます。このうち、「結婚していない交際相手(カレ/カノジョ)からふるわれる暴力」のことを、デートDVといいます。どうしてデートDVが起こるのか考えてみましょう。

● 結婚について

あなたは結婚したいですか？結婚するならいつ頃？

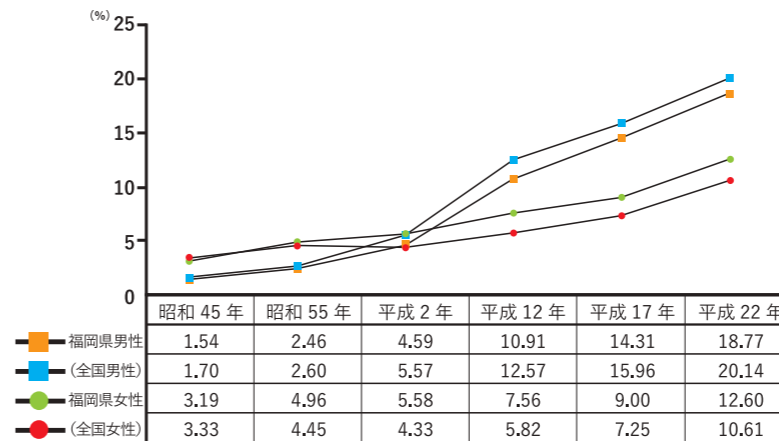
最近、男女共に平均初婚年齢が高くなる傾向にあり、20代、30代の未婚率が大幅に増加しています。

また、結婚に対する意識も徐々に変化しており、パートナーは必要だが必ずしも結婚する必要はない、生涯独身でキャリアを積みながら自由に暮らしたいと考える人も増えています。言うまでもなく、結婚する、しないは個人の自由な選択に委ねられています。

人生における結婚の意義を十分認識したうえで、自分の意思で選択することができるように、精神的にも経済的にも自立することが大切です。

● 結婚をめぐる状況

・ 男女別生涯未婚率の推移

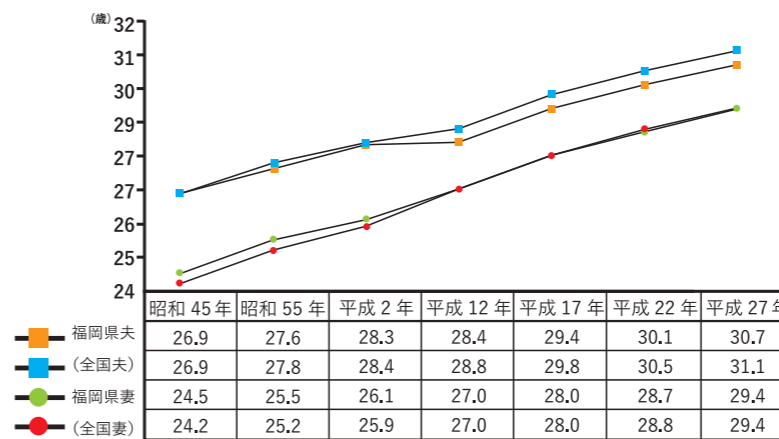


出典：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2016年版)」



福岡県の平成22年の生涯未婚率は10年前(平成12年)と比較し約1.7倍に増加しています。
※生涯未婚率とは…50歳になった時点で一度も結婚をしたことがない人の割合のこと。

・ 男女別平均初婚年齢の推移



出典：厚生労働省「人口動態統計」(平成27年)

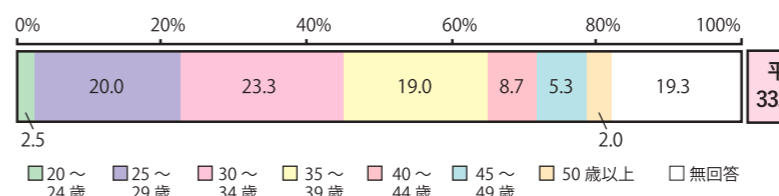
福岡県の平均初婚年齢は、平成27年で夫が30.7歳(全国は31.1歳)、妻が29.4歳(全国は29.4歳)となっており、全国平均と同様に上昇の傾向を示しています。

□ 考えてみよう!!

◆ 未婚化や晩婚化が進んでいるのはなぜだと思いますか？

・ 希望する結婚年齢

あなたは何歳の時に結婚したいと思いますか。



※調査対象者：県内に居住する満20歳から49歳までの男女
出典：福岡県「子育て等に関する県民意識調査」(平成25年)